

○令和5年9月8日 少子化対策特別委員会の第1回現地視察を行いました。

県議会の各委員会では、閉会中の委員会活動として、毎年テーマを定めて現地視察を行い、関係者から御意見等を伺っております。

少子化対策特別委員会では、今年度のテーマを「少子化対策の推進について」と定めており、今回3カ所の現地視察を行いました。

まず、高松市立東植田小学校（高松市東植田町）を訪問し、小規模校の特色を活かし、公淵公園などの校区内の豊かな自然や地域の人材を活用した教育活動について、説明を受け、質疑を行った後、授業参観を行いました。



次に、メロディ・インターナショナル株式会社（高松市林町）を訪問し、短時間正社員制度の導入や福利厚生の一環として胎児の心拍等を計測できる自社製品を妊娠中の従業員へ貸し出すなど、子育てと仕事の両立に向けた取組みについて、説明を受け、質疑を行った後、社内を視察しました。



次に、児童心理治療施設 若竹学園（高松市中山町）を訪問し、入所している子どもたちが社会で自立した生活ができるよう、生活支援を基盤とした心理治療や高松市立下笠居小・中学校の分校である「五色台分校」での教育活動について、説明を受け、質疑を行った後、学園・校内を視察しました。

